



# CHAPTER 18

## ユーザの更新

---

データベースにある既存のユーザ情報を更新する手順は、次のとおりです。

- 「ユーザの更新」(P.18-1)
- 「格納されている値の保持」(P.18-2)
- 「BAT スプレッドシートを使用したユーザ更新用 CSV データ ファイルの作成」(P.18-2)
- 「Cisco Unified Communications Manager 内のユーザの更新」(P.18-5)

## ユーザの更新

Cisco Unified Communications Manager データベースにある既存のユーザ情報を更新する手順は、次のとおりです。

1. カンマ区切り値 (CSV) データ ファイルを作成して、更新するユーザごとに個々の値を定義します。
  - 詳細については、「BAT スプレッドシートを使用したユーザ更新用 CSV データ ファイルの作成」(P.18-2) を参照してください。
  - テキストベースの CSV ファイルについては、「ユーザのファイル形式の更新」(P.A-8) を参照してください。



(注) Cisco Unified Communications Manager ディレクトリにすでに格納されている値や設定を保持する方法については、「格納されている値の保持」(P.18-2) を参照してください。



(注) ユーザ テンプレートはユーザ トランザクションの更新に必須ではありません。ユーザ テンプレートを選択した場合は、CSV に設定されていないフィールドは更新されたテンプレートから取得されます。選択しない場合、これらのフィールドは無視されます。また、無視するフィールドに「#」などの他の値を指定すると、無視する値が空白ではなくなるため、「#」の値が含まれるフィールドが無視されるようになります。

2. Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) を使用して、Cisco Unified Communications Manager データベースにある更新されたユーザ レコードを挿入します。詳細については、「Cisco Unified Communications Manager 内のユーザの更新」(P.18-5) を参照してください。

**追加情報**

「関連項目」(P.18-6) を参照してください。

**格納されている値の保持**

ユーザレコードを更新する場合、Cisco Unified Communications Manager ディレクトリにすでに格納されている値や設定を保持する必要があることがあります。この場合、値を保持する必要があるフィールドに対して、「#」などの記号を使用することができます。次の CSV データファイルの例では、# を入力することによって、すでに DC ディレクトリに入力されている [ マネージャ (Manager) ] フィールドの値が保持されます。

```
userid,#,department,,,123456789012,
```

格納されている値を保持するために使用する値を識別する手順は、次のとおりです。

**手順**

- 
- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザ (Users)] > [ユーザの更新 (Update Users)] の順に選択します。
  - [ユーザの更新 (Update Users Configuration)] ウィンドウが表示されます。
  - ステップ 2** [無視するフィールドの値 (Value for fields to be ignored)] フィールドを確認します。更新されたユーザの値を CSV データファイルに挿入する場合は、その値を保持するための記号をこのボックスに入力する必要があります。
  - ステップ 3** 値を保持するために使用する記号を決定します。
  - ステップ 4** [無視するフィールドの値 (Value for fields to be ignored)] フィールドと同じ値を BAT スプレッドシートボックスに入力します。
  - ステップ 5** この記号を BAT スプレッドシートフィールドで保持する必要がある値に対して使用します。
- 

**追加情報**

「関連項目」(P.18-6) を参照してください。

**BAT スプレッドシートを使用したユーザ更新用 CSV データファイルの作成**

既存のユーザのグループを更新するための CSV データファイルを作成する手順は、次のとおりです。

**手順**

- 
- ステップ 1** BAT.xlt ファイルをダウンロードして開きます。詳細については、第 2 章「ファイルのアップロードとダウンロード」を参照してください。
  - ステップ 2** プロンプトが表示されたら、[マクロを有効にする] ボタンをクリックして、スプレッドシート機能を使用します。
  - ステップ 3** ユーザ情報を追加するには、スプレッドシート下部の [Update Users] タブをクリックします。

- ステップ 4** すべての必須フィールド、および該当するオプション フィールドに値を入力します。各カラムの見出しは、フィールドの長さ、およびそのフィールドが必須かオプションかを指定しています。BAT スプレッドシートのフィールドの説明については、表 18-1 を参照してください。

表 18-1 ユーザ更新用の BAT スプレッドシートのフィールドの説明

フィールド	説明
[User ID]	電話機ユーザのユーザ ID を 1 ～ 128 文字で入力します。
[Manager]	電話機ユーザのマネージャのユーザ ID を 128 文字以内で入力します。
[Department]	電話機ユーザの所属部門番号を 64 文字以内で入力します。
[Default Profile]	このユーザとデバイス用のユーザ デバイス プロファイルを、50 文字以内で入力します。ユーザ デバイス プロファイルは、BAT に表示される Cisco Unified Communications Manager の管理 ページ内の既存の UDP のリストから選択できます。
[User Locale]	このユーザに関連付ける言語と国/地域のセットを 50 文字以内で入力します。この選択内容によって、言語やフォントを含むロケール属性のどれをこのユーザに適用するか、および Cisco Unified Communications Manager のユーザ ウィンドウと電話機をどの言語で表示するかが決まります。
[Password]	Cisco IP Phone 設定ウィンドウへのアクセス時にユーザが使用するパスワードを 128 文字以内で入力します。  パスワードは、CSV データ ファイルに指定する必要があります。または、ユーザ テンプレートを追加するときに BAT ユーザ インターフェイスを使用して指定する必要があります。ユーザ またはユーザのグループごとに個別のパスワードを適用する場合は、CSV データ ファイルでパスワード情報を指定してください。すべてのユーザにデフォルトのパスワードを使用する場合は、BAT 内でユーザを挿入するときにデフォルトのパスワードを設定します。
[PIN]	エクステンション モビリティで使用される Personal Identification Number (PIN; 個人識別番号) を 128 桁以内の数値で入力します。  PIN は、CSV データ ファイルに指定する必要があります。または、ユーザ テンプレートを追加するときに BAT ユーザ インターフェイスを使用して入力する必要があります。ユーザまたはユーザのグループごとに個別の PIN を適用する場合は、CSV データ ファイルで PIN を指定します。すべてのユーザが使用できるデフォルト PIN を使用するには、BAT にユーザを挿入するときにデフォルト PIN を指定します。
[Telephone Number]	電話番号を 64 桁以内の数値で入力します。
[Primary Extension]	このフィールドは、ユーザが追加され、ユーザのプライマリ電話番号が設定された後に表示されます。デバイスをユーザに割り当てる場合は、プライマリ回線を選択しません。ユーザは、電話機に複数の回線を接続できます。  システムが Unity と統合するように設定されている場合、[Cisco Unity Voice Mailbox の作成] リンクが表示されます。

表 18-1 ユーザ更新用の BAT スプレッドシートのフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
[Associated PC]	このフィールドは、Cisco SoftPhone および Cisco Unified Communications Manager Attendant Console のユーザに必須のフィールドであり、ユーザが追加されると表示されます。
[IPCC Extension]	このエンドユーザの ICD 内線を 50 文字以内で入力します。
[Mail ID]	電子メール ID を 255 文字以内で入力します。
[Presence Group]	電話番号、プレゼンス エンティティのステータスを監視するプレゼンス グループを 50 文字以内で入力します。  プレゼンス機能については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』を参照してください。
[SUBSCRIBE Calling Search Space]	Cisco Unified Communications Manager の管理ページで設定したすべてのコーリング サーチ スペースが、[SUBSCRIBE コーリングサーチスペース (SUBSCRIBE Calling Search Space)] ドロップダウンリスト ボックスに表示されます。  [SUBSCRIBE コーリングサーチスペース (SUBSCRIBE Calling Search Space)] は、エンドユーザからのプレゼンス登録要求を Cisco Unified Communications Manager がルーティングする方法を決定します。特にこの目的のためにコーリング サーチ スペースを設定するには、他のすべてのコーリングサーチ スペースと同様にコーリング サーチ スペースを設定します ([ コールルーティング (Call Routing)] > [ コントロールのクラス (Class Control)] > [ コーリングサーチスペース (Calling Search Space)])。  コーリングサーチ スペースの設定方法については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』を参照してください。
[Digest Credentials]	SIP を実行している電話機にダイジェスト認証を設定すると、電話機が Cisco Unified Communications Manager に SIP 要求を送信するたびに、Cisco Unified Communications Manager が電話機の身元を確認します。このフィールドに入力されたダイジェスト信用証明書は、[ 電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウでダイジェスト ユーザを選択したときに、電話機に関連付けられます。  最大で 128 文字の英数字による文字列を入力します。  ダイジェスト認証の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド』を参照してください。

**ステップ 5** DC ディレクトリに格納済みの値を保持する場合は、値を保持するよう BAT に指示するために使用する記号を [無視するフィールドの値 (Value for fields to be ignored)] フィールドに入力します。保持するフィールドの値に同じ値を入力します。

**ステップ 6** BAT Excel スプレッドシートから CSV ファイルにデータを転送するには、[Export to BAT format] ボタンをクリックします。

このファイルは C:\%XLSDataFiles% (または、別の既存フォルダを指定) に保存されます。ファイル名は次のとおりです。

Update\_Users-timestamp.txt (または、別のファイル名を指定)



(注) いずれかのフィールドにカンマを入力した場合、BAT.xlt を使用して BAT 形式にエクスポートするときに、そのフィールド エントリは二重引用符で囲まれます。

スプレッドシートにブランク行を入力すると、その空の行はファイルの終わりとして扱われます。ブランク行の後に入力されたデータは、BAT 形式には変換されません。

CSV データ ファイルは、Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードして、BAT からアクセスできるようにする必要があります。詳細については、「[ファイルのアップロード](#)」(P.2-3) を参照してください。

CSV ファイルを読み取る方法については、BAT の [ユーザの更新 (Update Users Configuration)] ウィンドウで、[サンプルファイルの表示 (View Sample File)] へのリンクをクリックしてください。

### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.18-6) を参照してください。

## Cisco Unified Communications Manager 内のユーザの更新

Cisco Unified Communications Manager ディレクトリでユーザ レコードのグループを更新する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

更新されたユーザ情報がある CSV データ ファイルが必要です。手順については、「[BAT スプレッドシートを使用したユーザ更新用 CSV データ ファイルの作成](#)」(P.18-2) を参照してください。

### 手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザ (Users)] > [ユーザの更新 (Update Users)] の順に選択します。  
[ユーザの更新 (Update Users Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] ドロップダウン リスト ボックスで、このバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。
- ステップ 3** [ユーザテンプレート名 (User Template Name)] ドロップダウン リスト ボックスで、このバルク トランザクション用に作成したユーザ テンプレートを選択します。
- ステップ 4** DC ディレクトリに格納済みの値を保持する場合は、値を保持するよう BAT に指示するために使用する記号を [無視するフィールドの値 (Value for fields to be ignored)] フィールドに入力します。詳細については、「[格納されている値の保持](#)」(P.18-2) を参照してください。



(注) ユーザを更新するために CSV ファイルに入力した値によって、ユーザ テンプレートに設定された値が上書きされます。

- ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 6** ユーザ レコードを即座に挿入するには、[今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックします。ユーザ レコードを後で挿入するには、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

## ■ 関連項目

- ステップ 7** ユーザレコードを更新するジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。
- ステップ 8** このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。
- ジョブの詳細については、[第 79 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。
- ログファイルの詳細については、「[BAT ログファイル \(P.80-3\)](#)」を参照してください。
- 

**追加情報**

「[関連項目 \(P.18-6\)](#)」を参照してください。

## 関連項目

- 「[ユーザの更新 \(P.18-1\)](#)」
- 「[格納されている値の保持 \(P.18-2\)](#)」
- 「[BAT スプレッドシートを使用したユーザ更新用 CSV データファイルの作成 \(P.18-2\)](#)」
- 「[Cisco Unified Communications Manager 内のユーザの更新 \(P.18-5\)](#)」
- 「[ファイルのアップロードとダウンロード \(P.2-1\)](#)」